

事務事業名	37604 在住外国人支援事業													
担当組織	市民生活部				協働推進課					担当	市民交流担当			
組織コード	H28	13	04	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H28	01	xx	xx	xx	xx	00	記入日	平成28年06月22日
	H27	13	04	00		H27	01	xx	xx	xx	xx	00		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補	
基本目標	07	人が集い心ふれあうまち										● 対象	
分野	05	国際交流・国際化・国内交流										○ 対象外	
施策	80	市内在住外国人への支援の充実											
事業期間	～ 平成32年度												
根拠法令 通達等											関連計画 施政方針		
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
ISO14001	<input type="radio"/> 1. 環境創出事業 <input type="radio"/> 2. 施設方針書 <input type="radio"/> 3. 環境配慮事業 <input checked="" type="radio"/> 4. 対象外												
対象	市民												
事業目的	市内在住外国人と地域住民との多文化共生を推進することで、異文化理解の向上や異文化コミュニケーション力に秀でた若い世代の育成を図る。												
事業内容	市内在住外国人への支援を主な役割として設立された（公財）戸田市国際交流協会と連携し、多文化共生社会を構築するための事業を展開していく。在住外国人が日本で生活を円滑なものにするための日本語教室や、在住外国人と地域住民が交流できる国際交流サロン等、多種多様な事業を実施し繋がりを広げていく。												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託      ( <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO ) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ( 国際交流協会 )												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成27年度 執行額 (千円)	平成28年度 予算額 (千円)	平成29年度 計画額 (千円)	平成30年度 計画額 (千円)	平成31年度 計画額 (千円)	
	事業費		0	0	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	0	
	人件費		1,718.75	1,031.25	1,031.25	1,031.25	1,031.25	
	投入 人員	常勤職員	0.25人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		1,719	1,031	1,031	1,031	1,031		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H26目標 H26実績	H27目標 H27実績	H28目標 H28実績
	活動	① 在住外国人が参加する交流事業数	回	在住外国人が参加する各種行事及びイベント等	90	96	100	
					95	94	-	
	成果	① 各種行事及びイベントに参加した 在住外国人の人数	人		700	772	657	
					702	584	-	
	成果	②					-	
						-		
目標達成 状況 の分析		C：活動・成果ともに達成できなかった。 <判断理由> 交流事業数及びイベントへの参加者数ともに平成26年度より減少し、目標を下回る実績となってしまった。国際交流サロンの参加者の減少が、目標を達成できなかった主要な原因であると考え、今後も国際交流協会と連携し、目標達成に向け、働きかけていきたい。						

## 3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	25年度	26年度	27年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	B	B	B	<判断理由> 国際交流協会が主体となり、ボランティアの力を借りて実施しており、事業の遂行と市民参加の両方を兼ね備えた事業であることから、十分に貢献していると考ええる。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	25年度	26年度	27年度	B：経費は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 活動の大半はボランティアの協力を得て実施されていることから、経費は必要最小限にとどめている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	25年度	26年度	27年度	B：事業手法は適正な内容である。
	C	B	B	<判断理由> 国際交流協会が主体となり実施しており、事業手法は適正であると考ええる。しかし、日本語教室等は人気も高く多くの問い合わせがある一方で、国際交流サロンは参加人数が減少し、国際交流パーティは事業自体を休止している。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	25年度	26年度	27年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 事業の実施にあたり参加費を徴収しており、受益者負担については公平と考える。

## 4. 平成27年度中に実施した見直し内容

見直し内容	市内在住外国人の増加に応じて、多くの国の文化や習慣とふれあう機会の創出を図るため、新たな取り組みにチャレンジするよう働きかけた。
見直しの効果	交流事業数・イベント参加人数ともに減少の結果に終わってしまった。国際交流協会に対しては、既存の事業にいかにも多くの市民を呼び込めるかを再検討するように促しつつ、昨年度以上に、積極的に新たな取り組みを行っていくように働きかけを行っていく。

## 5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成29年度で終了 <input type="radio"/> 平成28年度で終了 <input type="radio"/> 平成27年度で終了
	<判断理由> 市内在住外国人の生活を円滑にし、地域住民との交流を図ることによって、多文化共生社会を構築することは重要であることから、引き続き、市及び戸田市国際交流協会が協力・連携して事業を実施していく。
今後の取組方針	国際交流協会が実施する事業について、市としての考え方を積極的に伝え、より効果的な事業の実施を図る必要がある。市と国際交流協会が密に連携し、時代や市内の状況に合った事業や、高いニーズのある事業の提案等、今後も協力・連携しながら実施していきたい。